

諏訪地方の 経済概況 速報

2019.04

2019年3月末調査／2019年4月26日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



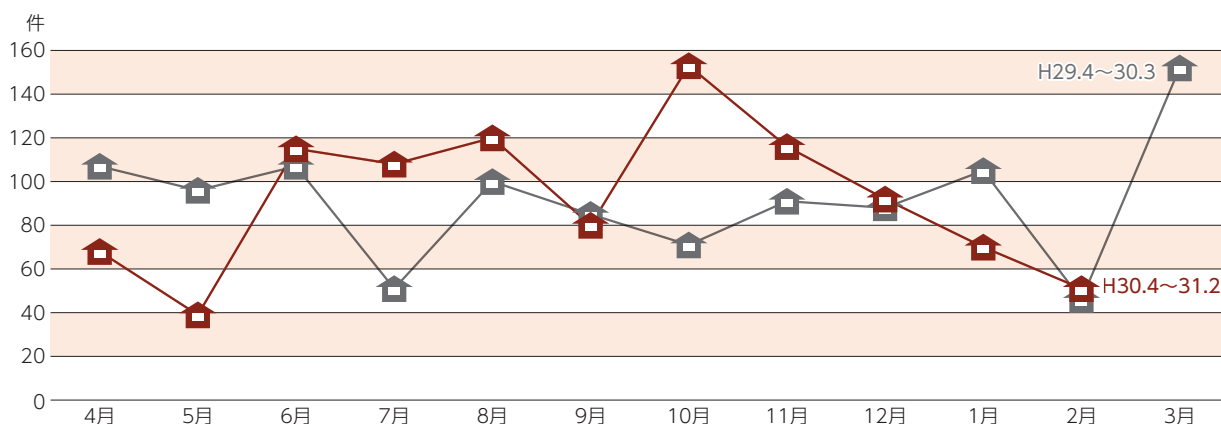
諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪地方の概況

3月は、国内の景況感の悪化が目立ってきた。日銀の3月の全国企業短期経済観測調査（短観）では、大企業製造業の業況判断指数が6年3ヶ月ぶりの悪化幅となり、電気機械や生産用機械を中心に落ち込んだ。中小企業製造業も東日本大震災直後以来の下げ幅となった。景気の先行指標とされる工作機械の受注は、日本工作機械工業会発表の3月の工作機械受注額速報値が、前年同月比で28.5%減少した。県内でも高水準の生産が続いていた業種が悪化し、米中貿易摩擦の影響が拡大し、中国経済減速の影響が、地方にも波及している。一方、非製造業は暖冬の影響はあったが、新車販売などが好調で横ばい圏内となった。諏訪地方も同様で、製造業では多くの取引先からの受注減少を感じる企業が多い。非製造業は、人手不足が続く中で、キャッシュレス化や働き方改革、消費税率引き上げなどへの対応が迫られている。こうした中で、4月1日に新元号「令和」が発表された。（諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ）

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【2月】（諏訪公共職業安定所管内）		1.78倍	0.07ポイント	
手形交換高【3月】（諏訪手形交換所扱）	枚数	3,434枚	△410枚	
	金額	4,809百万円	4百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【3月】（諏訪地方合計）		1,548件	5.2%	
新設住宅着工戸数【平成30年4月～平成31年2月】（諏訪管内）		1,012戸	6.9%	

■新設住宅着工件数の推移（諏訪地方合計）



製造業

「海外要因の受注減少が波及」

日銀松本支店の短観では、製造業の業況判断指数は昨年12月に比べて、大幅に悪化した。全国と比べて長野県は悪化幅が大きい。中国経済の減速に伴い、工作機械やロボット等の受注が減少し、半導体関連も勢いが鈍化している。民間設備投資の先行指標となる機械受注統計で、1月は民需の受注額が3ヶ月連続で減少し、設備投資鈍化の兆しも見られる。米中貿易摩擦の拡大などで、企業マインドが悪化してきている。諏訪地方でも工作機械関連の受注は減少傾向が続き、スマートフォン市場の縮小などで半導体関連や電子部品関連の受注も減少している。先行き不透明感から設備投資に慎重になる企業も見られる。ただ、深刻な落ち込みまでには至らず、自動車関連は電気自動車や自動運転にかかわる分野は好調で、省力化機械関連も一時より減速したもの、キャッシュレス化関連の機械装置への動きも出ている。また、モバイル決済の増加に伴う光学機器の増加も見込まれている。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	半導体関連をはじめ、受注が減少している企業が増加している。電子部品やOA関連は低調で、好調だった自動車関連も横ばいからやや減少傾向となっている。中国経済減速の影響などで取引先の業況が悪化し、数ヶ月先の受注見込みが不透明となっている企業が多い。材料等の値上げで、収益環境への懸念を持つ企業もある。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	省力化機械は受注が旺盛で、受注残も多く、景気の減速感を感じない企業もあるが、海外向けで減少した企業もある。自動車の電装用機械の受注は好調を維持している。工作機械は受注キャンセルも見られ、減速傾向となっている。産業ロボットは、アイフォンの減速で、前年同月比で減少幅が広がっている。専用機は、以前より動きが鈍くなり、主力取引先からの受注が大幅減少した企業がある。医療用検査機器の部品は堅調に推移している。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	自動車関連が堅調だが、半導体関連の受注は減少している。プリント基板関連は量産の一般的仕様は低調だが、付加価値のあるニッチなものは好調を維持している。ただ、旺盛だった基板加工が受注残が終わった時点で追加注文がなくなった企業がある。ロボット、NC制御装置とも工作機械の受注は厳しい。情報機器関連も受注が減少し、中国依存の悪影響がある。プリンター部品の受注は横ばい。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車関連は、インドや中国向けのガソリン車部品が順調。自動車部品は海外需要があり、依然、日系メーカーからの受注がある。一方、従来からの自動車部品受注が徐々に減少する代わりに、EVなどエコカー関連が増加している企業もある。ただ、メーカーによって急なキャンセルや生産減少の依頼があった企業もある。米国向けは貿易戦争の影響で中国からの部品供給が困難になった企業がある。船外機は総体的には変動がなく、欧州向けの中型機の売上が良好に動いている。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	ミラーレスカメラの受注が増加。欧米で売れ始め、今後アジア地域でも増加が見込まれる。中国で映画館が増加し、プロジェクター関連が好調。今後はモバイル決済の増加に伴う認証機能の搭載が進み、デュアルカメラ向けの光学機器の増加が見込まれる。一方、機械設備全般の動きが低調で圧力計やマシンビジョンレンズの受注が減少している。計量器は、医療機向けは堅調だが、産業機械向けはやや減少傾向となっている。
製造業全般	鋼材加工は、極端な落ち込みではないが、前年同月比で減少が続く。漬物は未曾有の野菜不足だった昨春に比べ、今年は好調に推移している。天候が良く、主要野菜が良質で安価となっており、利益率が向上している。味噌は堅調で即席味噌汁などの加工食品や甘酒も堅調。原材料の大豆が値下がりして追い風となっている。寒天は、テレビ放送の影響で需要が伸びたが、今冬は暖冬で冷え込みが足りず、稼働日数が少なめだった。原材料の高騰が懸念される。

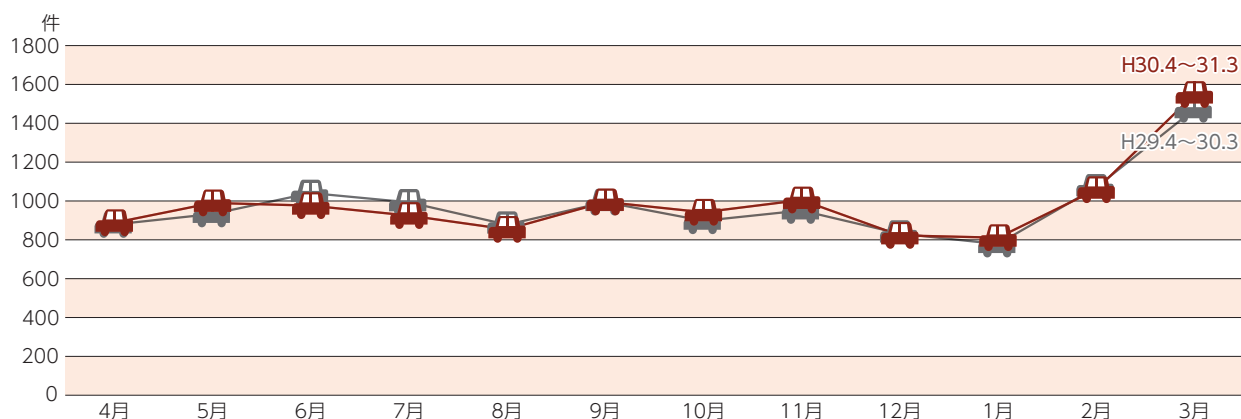
商 業

「新生活商材が伸び」

年度の変わり目の3月は、入園や入学、入社に向けた商材の売れ行きが伸びた。また、新生活用品需要もあった。飲食店では歓送迎会需要があった。猛暑だった昨年夏のイメージが強く、早めにエアコンを設置する動きもある。長野県の平成30年度商圏調査では、平成28年に大型商業施設が開業した岡谷市に居住者を上回る人数の買い物客が集まり、商圏が拡大した結果となった。2月に諏訪市の「アーク諏訪」が完成したことなどで、今後、大型店などでは店舗間競争の激化が予想される。4月末からの10連休への対応は、市場や物流の動きに対する懸念もあり、未知数となっている。また、5月の改元を前に、書店では天皇、皇后両陛下の関連本が売れている。

大型店	諏訪市の「アーク諏訪」核店舗開業の影響で、来店客数や購買額などが減少した店舗がある。
食料品	キャベツや大根、白菜などの主要野菜が良質で安価となっている。小麦粉の価格はやや上昇した。
家電	入学や入社、新生活用の各種家電の売上が伸びた。4Kテレビは高価で、低調なスタートのまま推移している。
自動車	諏訪地方の3月の車庫証明件数は1,548件で、前年同月比76件、5.2%増加した。平成30年度の合計は11,815件で、前年度比96件、0.8%増加した。
飲食店	春休みが始まった後半の天気が良く、客足が伸びた。週末の来店客が多く、宴会客が安定していた店舗が多い。
書店	コミックは好調だが、この時期売れる図書カードは伸びていない。大学入試制度改革に伴い、参考書の売れ行きがいつもより早い。
生花店	母の日用の生花の流通は、例年より減少が予想されている。
靴店	入学シーズンになり、学校用のカバンや靴の売れ行きが伸びた。総体的には安価なスニーカーなどカジュアル志向が強い。
ガソリンスタンド	暖冬の影響で灯油の販売量が減少した。仕入れ価格が上昇し、各スタンドは収益重視と販売量重視の二極化している。
野菜直売所	低温傾向で山菜の生育が遅くなっている。気温が低下した日は観光客の入り込みが鈍い。

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業 「10連休GWへの動き活発」

3月の諏訪地方の天候は、一時的な寒気があったものの、平均気温が平年より高く、降水量が少なかった。ただ、寒暖差が激しく、突然の降雪などで天候が読めず、スキー場などではファミリー客などの動きが鈍かった。半面、暖冬の影響で、登山の初中級者の雪山への入り込みが増加した。諏訪湖畔では個人客の増加が目立った。

一方、4月末から10連休となるゴールデンウィークへの動きが活発で、特に海外旅行が人気となっている。旅行代理店などでは海外はすでに、予約が難しい目的地があり、国内も空きがある場所を選ぶ状況になっている。諏訪地方を訪れる観光客の予約状況は、総体的には例年並みと見られる。

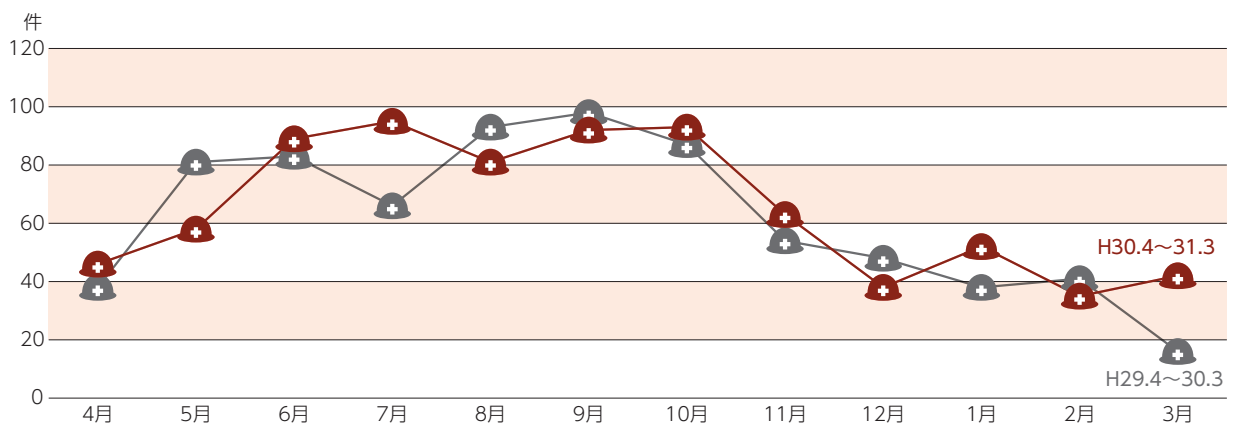
上諏訪温泉	2～4人の個人客が前年同月を上回った。関東方面や県内客が前年を上回っている。好天に恵まれたことによる個人客の増加が総体の宿泊人数増加の要因。インバウンドは前年同月を下回った。大型連休の予約状況は前年並みだが、前半と後半の入り込みが鈍い。
下諏訪温泉	高齢者層の宿泊が多く、10連休前もあって家族客は少なめだった。特急の停車本数削減への懸念が続く。
蓼科・白樺湖・車山・富士見等	春休みはバスツアーや学生、家族連れなど幅広い年齢の観光客が来訪するが、今年は学生が少ない。スキー場は日曜日と祝日が天候不順で、来場者が減少した。雪不足のイメージがシーズン通して集客に影響した。暖冬の印象で、ノーマルタイヤで来る都心からの観光客もあった。
諏訪大社	上社・下社合わせた3月の参拝者数は約5万3千人。前年同月比では約2千人、5.1%増加した。

建設業 「各地で学校へのエアコン設置事業」

3月の市町村からの受注工事は合計42件、1,498百万円となった。各地で学校へのエアコン設置事業があり、前年同月に比べ件数は26件、契約金額は1,381百万円増加した。国県関係の平成30年4月～平成31年3月の累計公共工事（地元業者受注分）は、前年度累計より件数、契約金額とも減少した。民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数が51戸で、前年同月比5戸増加（10.9%）した。平成30年4月からの累計は1,012戸で、前年より65戸、6.9%増加している。

公共工事	3月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、国関係1件、諏訪建設事務所5件、諏訪地域振興局農地整備課1件、同林務課1件の8件で、契約金額は288百万円だった。平成30年4月～平成31年3月の累計は142件、4,738百万円で、前年同期の累計比で件数は9件減少し、契約金額は524百万円減少（△9.9%）した。市町村からの3月の受注工事は、建築工事0件、土木工事および下水道工事16件276百万円、その他工事26件1,221百万円となった。
民間工事	諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は5戸増加の45戸、「貸家」は前年と同じ0戸、「分譲」も前年同様の6戸、「給与」も同率の0戸だった。長野県内の2月の新設住宅着工戸数は760戸で前年同月比7.0%減少した。前年同月比の利用関係別では「持家」は5ヶ月連続の増加、「貸家」は2ヶ月連続の減少、「分譲」は2ヶ月ぶりの減少となった。

公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



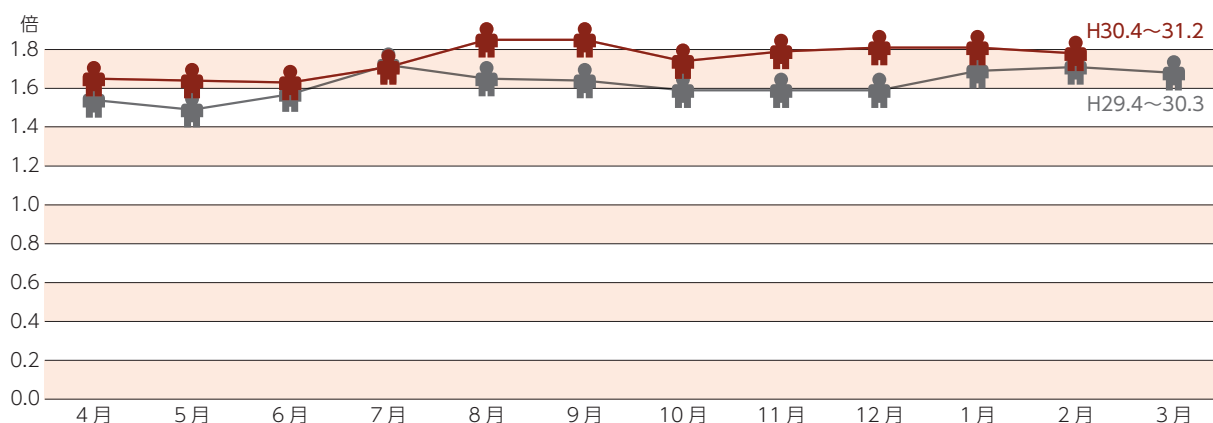
雇用

「有効求人倍率8ヶ月連続1.7倍以上」

諏訪地方の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.07ポイント上回り、前月を0.03ポイント下回る1.78倍となった。1.7倍以上の高水準は8ヶ月連続で、1倍台は59ヶ月連続。長野県平均は、前月を0.01ポイント下回る1.64倍で、全国平均は前月比横ばいの1.63倍だった

諏訪地方の新規求人数（全数）は2,057人で、前年同月比188人増加（10.1%）した。要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順。業種別の前年同月比の新規求人数は「建設業」「その他サービス業」が増加し、「運輸業」が減少した。新規求職者数は848人で、前年同月比59人増加（7.5%）した。1件10人以上の人員整理は0件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は37人で、前年同月より12人増加し、前月より12人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 業況が悪化している取引先が増加し心配（金属製品加工業）。
- 中小零細企業は10連休しては仕事が間に合わない（一般機械製造業）。
- 米中関係が改善しない限り回復は見込めず、上半期の回復はない（電気機械製造業）。
- 製造業は全体的に落ち込んでいるが、全く仕事がないわけではない。ただ、南信地区の零細企業には廃業する企業もある（電気機械製造業）。
- 東海圏域より諏訪圏域の方が品質や技術が優位で、精密加工精度も高いことから、諏訪地方の需要は継続する（輸送用機械製造業）。
- 10連休は休業しないが、市場や物流が休業するため、仕入れ商品確保に不安がある（小売店）。
- 働き方改革の影響か、18時以降の夜間の見積依頼や注文書が入らなくなっている（卸売業）。
- 消費増税を意識した動きはあるが、前回引き上げ時より意識は薄い（建設業）。
- キャッシュレス化は、1企業で対応できても観光地はエリア全体で一律に対応できないと意味がない。施設ごとに支払機能が違うと特に外国人が嫌う（観光業）。

長野県の金融経済動向

(2019年4月1日 日本銀行 松本支店)

— 2019年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、生産の一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、住宅投資は横ばい圏内で推移し、個人消費は底堅く推移している。公共投資は弱含んでいる。この間、生産は高水準ながらも、一部で弱めの動きがみられる。雇用・所得は、着実な改善が続いている。企業の業況感は、製造業を中心に悪化している。

生産

生産は高水準ながらも、一部で弱めの動きがみられる。

半導体関連・電子部品等では、スマホ向けの需要が鈍化するもとの、生産は弱めの動きとなっている。

自動車関連では、国内外の需要動向を受けて、生産は堅調に推移している。

機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は高水準ながらも減速している。工作機械は、自動車向けの設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。成形機は、堅調な国内需要を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。バルブは、国内での設備投資の増加を受け、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

飲料では、生産は高水準横ばい圏内で推移している。

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、19年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。輸出は、19年度は前年度並みの計画となっている。企業収益は、19年度は前年度を下回る計画となっている。

個人消費

個人消費は底堅く推移している。

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)や家電販売額は、底堅く推移している。新車登録台数は、堅調に推移している。

公共・住宅投資

公共投資は弱含んでいる。

住宅投資は横ばい圏内で推移している。

雇用・所得

雇用・所得は、着実な改善が続いている。

有効求人倍率は、高水準で推移している。

雇用者所得、就業者数は、振れを伴いつつも緩やかに上昇している。

物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、19/2月は前年比で1%台のプラスとなっている。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>